

製品名: ATG16L1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81529**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68.3kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG16L1
別名	IBD10; WDR30; APG16L; ATG16A; ATG16L
遺伝子 ID	55054.0
SwissProt ID	Q676U5
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATG16L1 (AA: 11-257) の精製された組み換え断片。

背景

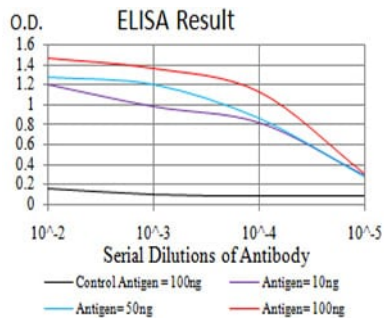
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内成分をリソソームに誘導して分解する主要なプロセスであるオートファジーに必要な大きなタンパク質複合体の一部です。この遺伝子の欠陥は、炎症性腸疾患 10 型 (IBD10) の感受性の原因となります。この

遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

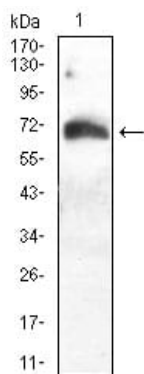
研究分野

オートファジー

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1) 細胞溶解物に対する ATG16L1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。